



平成 29 年 1 月 31 日

各 位

会社名 富士紡ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 中野光雄
(コード番号 3104 東証第一部)
問合せ先 取締役 吉田和司
(Tel. 03-3665-7612)

中期経営計画『加速 17-20』について

富士紡ホールディングス株式会社(本社:東京都中央区、社長:中野光雄)は、2017 年度から 2020 年度までの当社グループ中期経営計画『加速 17-20』を策定いたしました。

2017 年3月に終了します現中期経営計画『邁進 14-16』では、2020 年のありたい姿として掲げています「有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業」を目指して、2016 年度グループ連結売上高 600 億円、同営業利益 60 億円を目標に、「本格的業容拡大」に邁進してまいりました。この結果、研磨材事業、化学工業品事業を中心に拡大軌道に乗り、最重点目標の営業利益 60 億円を達成し、過去最高益を更新できる見通しです。

今回策定いたしました中期経営計画『加速 17-20』では、『邁進 14-16』「本格的業容拡大」に引き続き、スピード感を持った事業推進により、新たに設定しました長期ビジョン 2026 年度売上高 1,000 億円、営業利益 150 億円に向け、企業価値拡大を「加速」してまいります。

新たな計画における経営目標は次のとおりです。

2026 年の長期ビジョン実現に向けて、利益重視に立脚した重点3事業(研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業)の成長加速を基本方針とし、

- ①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大
- ②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢
- ③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化

を推進します。

これにより、2020 年度の連結業績目標(売上高: 700 億円、営業利益: 100 億円)の達成に向けて、各事業の成長を加速してまいります。

中期経営計画の詳細につきましては、別紙(中期経営計画『加速 17-20』)をご覧ください。

以 上

※ 当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいて作成したものでありますが、記載された将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

[本件に関するお問合せ先]

経営企画部 岡田

TEL :03-3665-7602

E-Mail :mokada@fujibo.co.jp

中期経営計画『加速 17-20』

(2017年度～2020年度)

2017年1月

富士紡ホールディングス株式会社

I. FUJIBO グループの企業理念

私たちは、一世紀を超える歴史の中で培った技術と経験を生かし、つねに時代が求める新しい技術・製品を提供することで先端産業を支え、人・社会・地球にとってより豊かな未来の創造に貢献し続けます。

II. FUJIBO グループの企業ビジョン

壁を破る、時代を拓く ～ メーカーとしての指針

主力事業の競争力強化、成長市場での新事業創出など、つねに壁をうち破るチャレンジを続け、人の暮らしと産業の発展に貢献する。

誠実な経営、終わりになき成長 ～ 経営の指針

コーポレートガバナンス、リスクマネジメントの強化が重要であると認識し、企業理念に則り、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまから信頼される誠実な経営を目指す。

個を尊ぶ、和を育む ～ 労働環境の指針

社員一人ひとりに公平な機会と公正な評価を与え、切磋琢磨して共に向上し合える環境を創造。個を尊重することで、競争力とチームワークが育つ職場を創る。

III. 新中期経営計画と2026年の新長期ビジョン

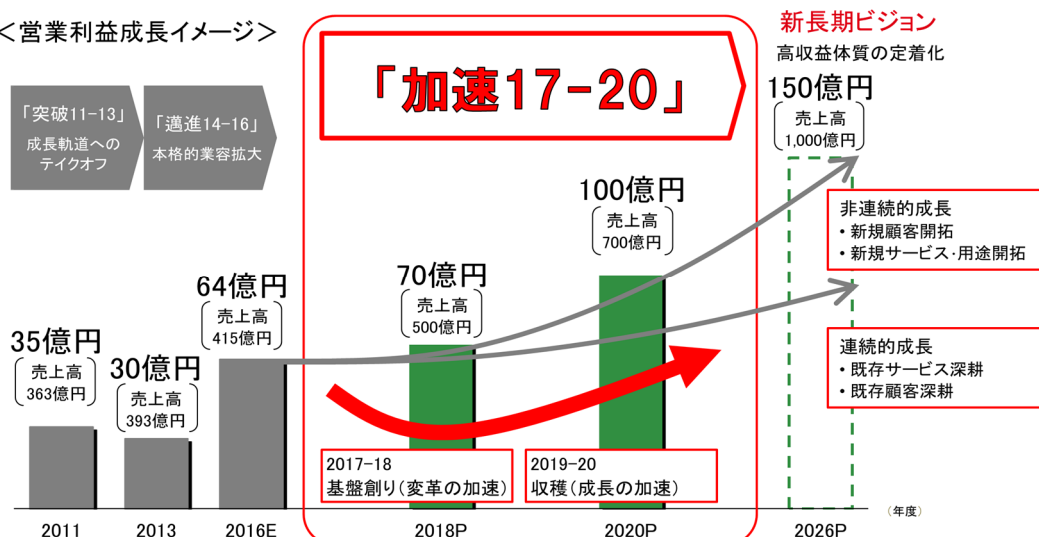
新中期経営計画『加速 17-20』

- スピード感を持った事業推進により、企業価値拡大を「加速」
- 営業利益100億円、売上高700億円

2026年の新長期ビジョン

- 「有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業」
- 営業利益150億円、売上高1,000億円

< 営業利益成長イメージ >



IV. 基本方針・基本戦略

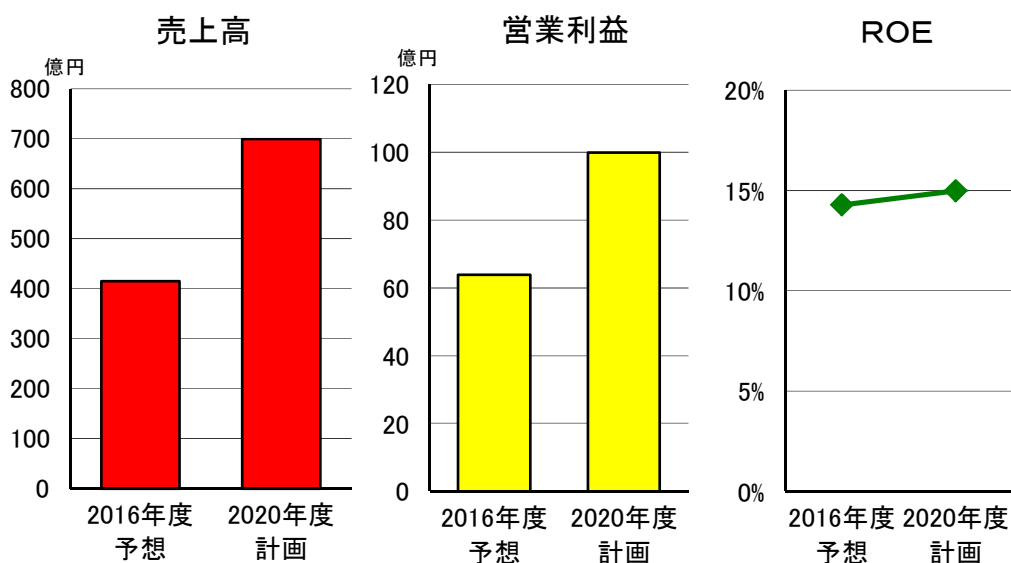
1. 利益重視に立脚した重点3事業の成長加速を基本方針として、

- ①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大
- ②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢
- ③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化を推進する

2. 計数目標

【2020年度(2021年3月期)の連結業績目標】

	2016年度 予想	2020年度 計画
売上高	415億円	700億円
営業利益	64億円	100億円
当期純利益	41億円	70億円
ROE	14.3%	15.0%
自己資本比率	58.1%	65.0%



【セグメント別計数目標】

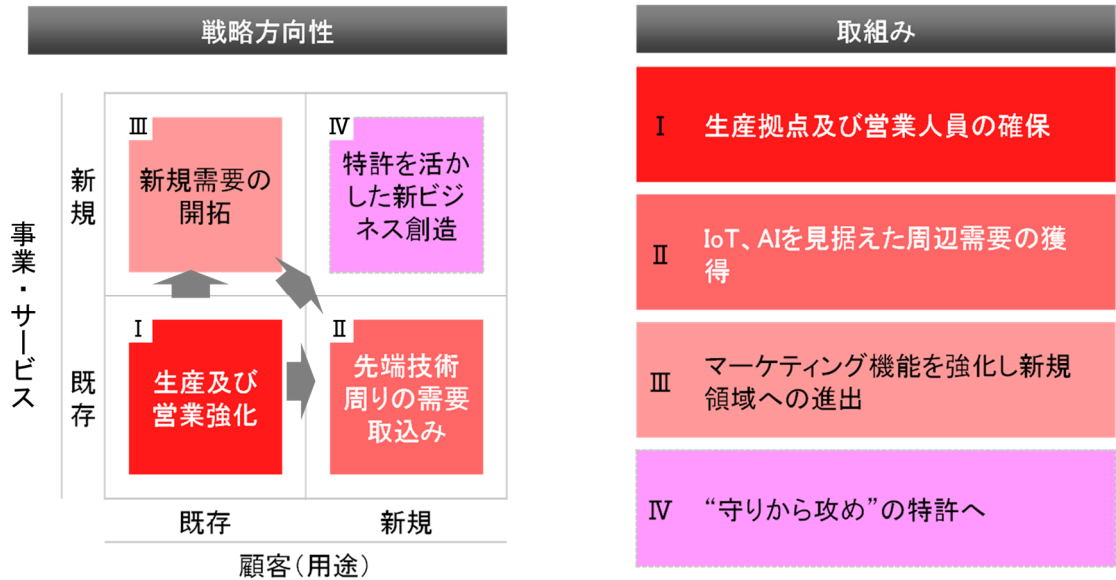
	売上高 (億円)		営業利益 (億円)	
	2016年度予想	2020年度計画	2016年度予想	2020年度計画
研磨材事業	135	200	53	70
化学工業品事業	110	170	8	17
繊維事業	130	200	2	10
その他事業	40	130	1	3
合計	415	700	64	100

V. 基本戦略

1. 収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大

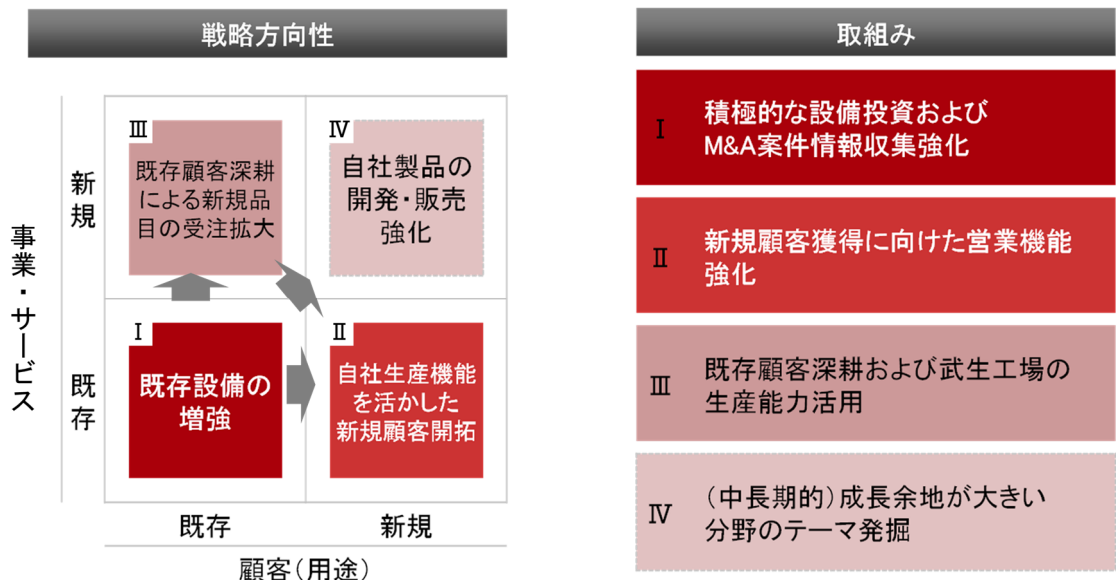
◇研磨材事業

「生産及び営業強化」、「先端技術周りの需要の取込み」、「新規需要の開拓」、「特許を活かした新ビジネス創造」の4つの戦略を推進



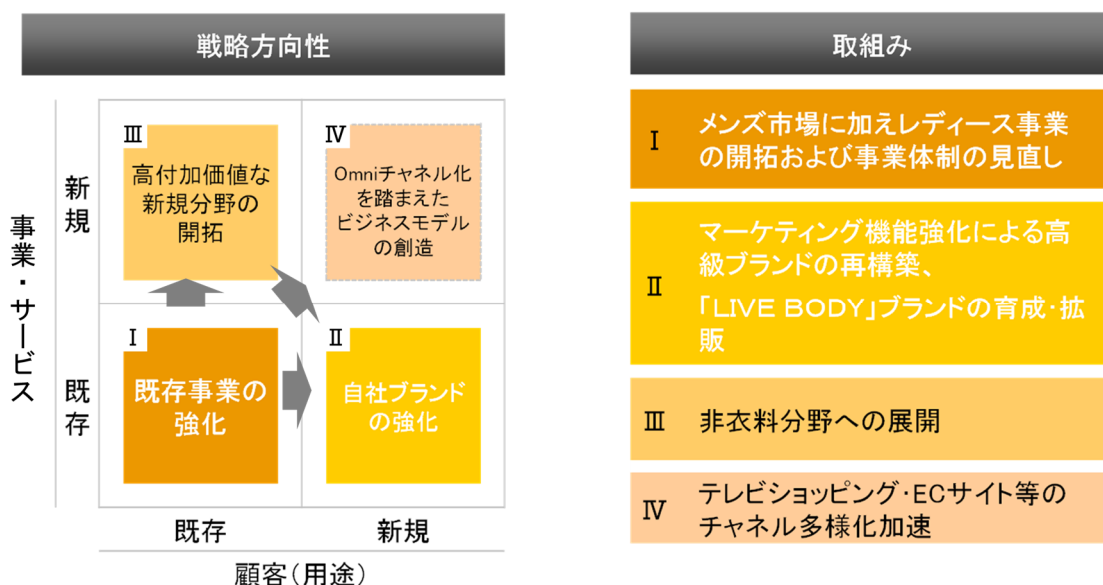
◇化学工業品事業

「既存設備の増強」、「自社生産機能を活かした新規顧客開拓」、「既存顧客深耕による新規品目の受注拡大」、「自社製品の開発・販売強化」の4つの戦略を推進



2. 繊維事業の構造改革による収益性向上と反転攻勢

「既存強化」、「自社ブランドの強化」、「高付加価値な新規分野の開拓」、「Omni チャンネル化を踏まえたビジネスモデルの創造」の4つの戦略を推進



3. 成長加速に向けてのホールディングス機能の強化

「成長への貢献」を重視した事業戦略の実行支援のための機能強化

マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング体制の再構築 ・儲かる商品のポートフォリオ構築 ・新たなビジネスを創造する仕組みの創出
知的財産	<ul style="list-style-type: none"> ・“守りから攻め”の知財戦略の推進 ・知的財産保護の体制強化
人財	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の次世代幹部の育成 ・グローバル人材の育成加速
IT	<ul style="list-style-type: none"> ・市場変化への対応、経営意思決定の迅速化を図るIT基盤の強化

4. 投資計画

17-20年度累計	
設備投資	150億円
うち研磨材事業	70億円
うち化学工業品事業	67億円
減価償却	100億円
M&A 予算など	100~150億円

5. 株主還元方針

- ・中長期的な企業価値向上のため、成長投資に振り向ける内部留保を確保
- ・株主の皆さまへの還元を最重要と認識しており、配当は長期安定的かつ業績に対応して実施、自己株式の買入は機動的に実施

6. ESG(環境・社会・企業統治)への積極的な取組み

当社は、下図のように、従来よりESGに取り組んでおります。新中期経営計画においても、持続可能な成長を目指し、一層積極的に取り組んでまいります。

環境 (Environment)	「ふくのわプロジェクト」 参画	天然素材を活かした 製品群	環境を守るための自然 にやさしい設備投資
社会 (Social)	ー 寄付頂いた衣類をリ ユース専門業者に買い 取ってもらい、その収益 金で障がい者スポーツ を応援するプロジェクト	障がい者スポーツ への協賛 災害被災者への 支援	柳井化学工業の地元 柳井市営武道館に協 力、「FUJIBO 柳井化学 武道館」と命名、質の高 い教育に貢献
ガバナンス (Governance)	<ul style="list-style-type: none"> ・透明性、実効性を追求したコーポレート・ガバナンス体制の構築 ・取締役会7名の内、2名は独立性の高い社外取締役で構成 ・長期ビジョンに基づいた中期経営計画の策定、開示 ・IR活動を通じてのステークホルダーとの建設的な対話継続 		

以上